

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-3-2		事業名	新産業育成推進事業				
担当	経済局産業振興部産業振興課新産業担当係 藤原 薫 211-2379							
全体計画								
事業内容	市内の中小企業者と大学等との連携や、異業種との連携を後押しし、地域の産業資源を活かした産業の振興を図るため、新産業の事業化が期待できる 環境・エネルギー 福祉・医療 情報・通信 バイオテクノロジー(ライフサイエンス)関連分野への取組みを支援する。研究開発から販路拡大までを一貫して支援する機能を有する財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)を仲介役とし、より効率的、効果的な支援を行う。平成21年度以降は、平成20年度完成予定の北大北キャンパスのビジネスインキュベーション施設入居者なども対象に加えることで、事業のレベルアップを図る。			<年度別の事業内容>				
				平成19年度～平成22年度 毎年度2件程度の案件において補助金による新産業・新技術の事業化を支援するとともに、支援終了後の競争的資金の獲得や販路拡大を目指すなどフォローアップを充実させていく。				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
	<p>下記2案件に対し補助金を支出、製品化を達成した。</p> <p>北海道産の鮭の卵巣外皮から抽出した素材を、機能性食品・化粧品素材へ応用するための事業「サーモンオバリーペプチド第2世代の開発」に対して補助金を支出し、その科学的根拠を確立し、製品化を実現、事業化に向けての道筋を作った。</p> <p>天然素材を使用、環境に配慮した化粧品であり、そのデザイン性・使用感・品質により高い評価を得ている紙石鯨「初雪」の素地の改良等を行い事業化を図るための「環境に配慮した地域ブランド紙石鯨の事業化」事業に対し補助金を支出し、その製品化を実現した。</p>			<p>新規2件程度の案件において補助金による新産業・新技術の事業化を支援するとともに、支援終了案件についてもフォローアップを継続していく。</p>				
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
<p>市民との連携、市民参加 各事業を展開していく中で、民間・業界団体などの有識者からの意見を取り入れている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力](財)北海道科学技術総合振興センターを仲介とすることによりそのネットワーク・ノウハウを活用 [情報協力](財)北海道科学技術総合振興センターの広範な情報を活用し事業を円滑に推進 [その他の協力]北海道立工業試験場や北海道大学など他機関との共同研究開発 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (財)北海道科学技術総合振興センターの広範なネットワークを活用することにより、広く企業の掘り起こしを行い、企業が本事業を受けやすい環境づくりを行っている。</p>								

項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
補助金交付件数(累計)	2件	4件	6件	8件	10件	10件

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		2-3-2			事業名	新産業育成推進事業		
評価(成果)				課題				
研究開発・事業化のノウハウを有する(財)北海道科学技術総合振興センターを仲介役とすることで、通常の補助金に比べ、専門性の高い効果的な事業化支援が可能となっている。平成18年度・平成19年度支援案件に関してもすべて商品化を達成している。				他の施策と連携を図ることにより事業の連続性を持たせ、さらなる相乗効果を創出する必要がある。				
今後の事業の予定・方向								
(財)北海道科学技術総合振興センターの機能を活用した中小企業者への支援の成果を踏まえ、地域の産業資源を活かした分野について研究開発から販路拡大までを一貫して支援する取組みを継続・拡大していく。また、平成20年度完成予定の北大北キャンパスのビジネスインキュベーション施設の入居者やさっぽろベンチャー支援事業の卒業生を対象にしていくことで、事業の連続性を持たせ、さらなる相乗効果を図る。								
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	12,000	12,000	12,000	12,000	48,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0			
一般財源	12,000	12,000	12,000	12,000	48,000			
予算	事業費	12,000	10,250	-	-	22,250		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0			0		
	市債	0	0			0		
その他	0	0			0			
一般財源	12,000	10,250			22,250			
実績	事業費	12,000	-	-	-	12,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	0				0		
	市債	0				0		
その他	0				0			
一般財源	12,000				12,000			
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)					46.4%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度] 計画と同額で予算を執行								
[20年度] 計画どおりの補助採択を実施予定								